

質疑3

子どもの未来応援基金関係経費

計画通りに実施できたのか。子どもの居場所を提供している施設同士の意見交換会などを開催してはどうか。

質疑4

地方自治体の情報システムの標準化の進捗状況

住民基本台帳など基幹的な情報システムが全国標準化される。市に過度な負担がないよう国に財源措置を強く要請すべき。

質疑5

民間委託における「履行評価制度」の導入

職員数が限られ、民間委託が増加している。業務やサービスの質を高く保つために履行評価制度を導入してはいかがか。

質疑6

盛土規制法施行に伴う危険な盛土の監視と防止

市街地などで土石流被害を防ぐため盛土規制法が施行されたが、監視体制や原状回復命令のさらなる強化が必要。

**質疑7**

周辺に悪影響を及ぼす危険な空き家対策

空き家対策のための組織強化が必要。倒壊、落下で人身被害などが起きた場合の行政責任をどう考えているのか。

質疑8

市民病院への救急ワークステーションの設置

救命率の向上や救急隊の教育の拠点として東消防署に近接する市民病院に救急ワークステーションを設置してはいかがか。

公明党

質疑1

決算状況報告書

提案理由説明で取り上げた一部の事業が報告書に記載されてない。総括質疑や委員会で取り上げた事業も含め、重要度に留意して報告書を作成する事を求める。また報告書への記載基準について、1ページに5つしか選べない事は課題ではないか。

質疑2

不用額調書

不用になった理由について、後で予算が過大であったとの批判に対し、議会や市民が納得できる情報の提供を求める。また不用額が発生した事で、予定していたサービスが十分に執行できない事がないよう対策を求める。

質疑3

小中学校図書館充実経費

児童・生徒の読書環境、そして学びの機会の創出に影響を与えることがないよう、学校図書に関する適切な予算の確保と執行を今後も切れ目なく行ってほしい。

**質疑4**

節目年齢歯科検診

今年度からさらに対象年齢に20歳と30歳が追加されたので、個別受診勧奨と併せ、効果的な周知・啓発を行っていただき、市民の歯の健康推進により一層の取り組みを求める。

質疑5

中小企業等DXアクセラレーション事業

デジタル化を進めたくても躊躇している中小企業が、今後も広く支援を受けられるような事業展開をお願いする。

共産党

質疑1

市が450億円投資した熊本城ホールの収支が毎年赤字でいいのか稼働率が目標に届かず、大規模催事が誘致できていないのはホール整備への税金投入450億円が問われる問題。

質疑2

こども医療費助成制度は「完全無料化」実施を

自己負担があるのは県下で熊本市と宇城市のみ。必要額7億円を確保し無料化を。

**質疑3**

学校施設の維持・監理補修、バリアフリー化は計画的実施へ予算確保を

トイレ洋式化、外壁改修・屋上防水、バリアフリー化などは計画的に実施すべき。



分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧いただけます。▶

**総務**

●新庁舎整備事業

現庁舎の耐震性などの課題や大規模改修と比較した財政面の有利性など、情報が市民へ行き届いていないと強く感じるため、建て替えの根拠と妥当性について分かりやすく、適切なタイミングで行ってもらいたい。



また、合併推進債が活用できることを好機と捉え、長期的な視点での維持補修計画に加え、定員管理計画との連動やIT関連技術の進展など、情勢の変化に対応可能な執務環境を整備してもらいたい。

教育市民

●町内自治振興補助金

交付規則の見直しにあたっては、自治会の担い手不足や高齢化も進んでいるため、申請手続きが煩雑にならないよう慎重に取り組んでもらいたい。

●天明みらい学園

開校に向けた準備については、滞りなく進めるとともに、閉校する地域への事前周知を徹底し、地域住民の思いにも十分配慮しながら取り組んでもらいたい。

**厚生**

●障がい者福祉タクシー利用券

他都市の状況も踏まえ、利便性の向上を図るとともに、障がい者にやさしいまちづくりの観点から、予算増額をともなった制度の拡充を求めたい。

●フッ化物洗口事業

本市の子どもの虫歯の有病率が高いという状況を踏まえ、対象とする小学校学年を拡大するよう、早急に取り組んでもらいたい。

**環境水道**

●ごみ減量に向けた3Rの推進

市民が食品ロスを身近な問題として捉えられるよう、情報提供の手法に工夫を凝らすとともに、ごみ減量に向けた重点的な取り組みとして、充分な予算を確保の上、推進してもらいたい。



●江津湖における指定外来魚駆除

生態系維持のために重要な取り組みであり、市民の参加によりさらに効果を得られると思うので、指定外来魚の取り扱い方法や活動内容のさらなる周知啓発に努めてもらいたい。

経済

●高齢農業従事者へのサポート

夢と活力ある農業推進事業について、スマート農業の技術が進歩する一方、農業従事者の高齢化も進んでいくことから、高齢者への技術面でのサポート強化に努めてもらいたい。



●ひごまるリニューアル提案

宿泊税の導入や観光戦略に取り組む中、熊本市のイメージキャラクターである「ひごまる」について、観光コンテンツとしてより活用していくため、デザインのリニューアルを検討してほしい。

都市整備

●自動運転バスの実証実験

安全運行のための取り組みに加え、自動運転への機運醸成を図るため、市民や観光客に向けた積極的な周知広報に努めてもらいたい。



●上熊本駅歩行者通路の屋根

雨漏りを確認した時点で、修繕などの安全対策を速やかに行うべきであったと改めて指摘したい。また、今後管理者としての責任を真摯に受け止め、対応されるよう要望する。